

古 典B

検印 校長【 前三盛 英明 】 教頭【 嘉数 修 】

国語	単 位	2単位	学科・学年	普通科 3年 普通コース		
			コース・組			
使用教科書	新編古典B(東京書籍)			副教材等	「国語便覧」 浜島書店	

1. 学習の到達目標

- ① 古典としての古文と漢文を読む能力を身につける。
- ② ものの見方、感じ方、考え方を広くする。
- ③ 古典に親しむことによって人生を豊かにする態度を身につける。

2. 学習の計画

学 期	月	単元名 教材名	学習の目標	評価の観点			配 当 時間	
				関心 意欲 態度	読む	知識 理解		
一 学 期	4	随筆を味わう	随筆を読み、自然や人間に対する、古人の優れた感性に触れる。	○	○		9	
	5	『枕草子』 『方丈記』	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文章の内容を構成や展開に即して的確にとらえる。 ・ 文章の表現上の特色を理解する。 ・ 古語と現代語を比較し、国語の特質について考える。 		○	○		
			様々な観点から古語について調べ、国語の特質について考える。	○	○	○		
			言語学習	・ 大枠の課題の中から自ら課題をしばらくこんで調べる。	○			2
			「ありがたい」と「ありがたし」	・ 調べたことを適切に文章にまとめたり発表したりする。 ・ 副教材や図書館の資料などを主体的に利用する。	○			
		6	物語を楽しむ 『伊勢物語』 『大和物語』	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歌物語の特徴や『伊勢物語』についての知識を身につける ・ 歌物語を読み、古人のものの見方や感じ方を味わう。 ・ 構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を捉える。 ・ 和歌の修辞を理解する。 	○	○	○	8
	7	歴史物語を読む 『大鏡』	・ 長編物語の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読みとる。	○	○	○	6	
		言語学習	古典を読み、関心をもった事柄について調べる。	○			2	

二 学 期	8	道真について調べる	・調べたことを適切に文章にまとめたり発表したりする。 ・副教材や図書館の資料などを主体的に利用する。	○				
	9	歌話を読む 『無名抄』	・歌話を読んで、作者の思想や感情を読み取る。 ・歌話中に取り上げられている和歌を鑑賞する。	○	○	○	5	
	10	物語を味わう 『源氏物語』	・『源氏物語』を読み、物語の世界に親しみ文章を味わう。 ・登場人物の行動や心情を読みとる。	○	○	○	9	
	11	小説を楽しむ 『世間胸算用』	・近世の小説を読み、古人の生き方や考え方について理解する。 ・音読み文章のリズムを捉える。	○	○	○	7	
	11	小話を読む 小話三編 『一八史略』	・史話を読み歴史のおもしろさを味わう。 ・訓点や仮名遣いに注意して正しく音読できる。 ・助動詞や助詞、置き字に注意して正しく書き下し文ができる。	○		○	○	9
	12	古詩を味わう 古体詩五首	・古体詩を読み、表現の特色を理解する。 ・詩にうたわれた情景や作者の心情を味わう。 ・詩を暗唱する。	○	○	○	○	4
			史記を味わう 『史記』	『史記』の文学性と作者司馬遷についての概要を知る。 ・登場人物の言動を正しく整理できる。 ・訓点や仮名遣いに注意して正しく音読できる。	○		○	○
三 学 期	1	中国の思想	・人間や政治についての古代中国のさまざまな思想を読み取る。	○	○	○	5	
	2	人間論・政治論	・訓点や仮名遣いに注意して正しく音読できる。		○			

3. 課題、提出物

- ①授業時のプリントやノートの提出があります。
- ②提出物や課題は、成績評価に加味します。
- ③確認テスト（暗唱・音読・文法・単語等）を実施します。

4. 評価の観点

関心・意欲・態度	読む力	知識・理解
言語文化や伝統に対する関心を深め、国語を尊重して、進んで古典に親しもうとしているか。	古典に表れた思想や感情を的確に読み取り、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしているか。	古典の理解に役立てるための音声、文法、表記、語句、語彙、漢字等を理解し、知識を身につけているか。
上記の観点をふまえて、定期考査・提出物・授業態度・確認テスト等で総合的に評価します。		